

米山山行記録



雪稜は軟雪



山頂直下



雪穴を掘ってキムチ鍋



キムチ鍋を振舞う



下山で振返る



樹氷林を下る

目的地	米山 (大平コース)	期 日	平成22年2月21日 (日)・曇りから快晴へ
山行人	笠原正雄・中野茂・森山トシ子	特 記	YHC 会報でキムチ鍋山行を呼びかけたが、人気無く3人のみ。

地点名	時刻	記 事
与板発	午前7:00	鍋とお酒は付き物。車と運転を M に頼んだ。
大平集落 P	8:35 発	着いた時は3台目だったが、次々と車が入って来た。壺足で雪に上がる。
登山口	8:50	スノーシューを背負った単独男に追い越される。林間の急登が続く。相変わらず、M が他の者と歩調を合わせることなく先へ行く。
二ノ字広場	9:40	ベンチも標柱も雪の下。3人揃い、少し休む。先行者も壺足のようだ。
711 標高点	10:00	山頂が良く見えるが、東の空にはやや黒い雲がある。この先、雪稜となっている所があるが、喬木や軟雪で危険度は少ない。
カンジキ歩行へ	10:20	踏み跡を見ると先行者は途中でカンジキを付けたようだ。俺も登路で履く。しばらくすると、もう一人がスノーシューを履いた模様だ。ここで N もカンジキを履く。少し先で、先行していた M もカンジキを履く。急登で2人の下山者と会う。
米山山頂	11:20	お天気が良いので、小屋に入らず、東に向かってせり上がっている雪の西斜面をスコップで掘り下げる。N が5分遅れで3人揃う。ランチ場が出来て、腰を下ろし、先ずは乾杯。そのうち、10数人の団体が来る。一人はスキーを担いでいた。
キムチ鍋完成	12:00	白菜とネギはMの自家製野菜を提供してもらった。おいしく出来て、最後は冷や飯と一緒に煮込んでオジヤで食べる。
小屋へ入る	12:50	少し陽が陰り指先が冷たくなったので、小屋に入る。コーヒーを飲みながら下山準備をする。2階では団体が楽しそうだ。彼等も下りて来て、先の下って行った。
下山へ	午後1:20 発	快晴になった。海も国道も良く見える。コース全体も目で追える。Mが先行して、さっさと下りて行く。ブナ帯を下って行く彼女の姿が見えなくなった。スキーシュプールは林間を上手に滑っている。樹氷林間を勝手気ままに気分良く下る。
二ノ字広場	2:25	良い天気で、下山するのがもったいないほどだ。Nとゆっくり楽しみながら下る。ここでMが待っていた。大分待ったことだろう。ここで湯を沸かし、コーヒーブレイク。単独男が壺足・ビッケルで下りてきた。
登山口	3:00 (与板着 5:00)	林道に降りる。Pへの途中でカンジキを外す。駐車地点に戻ると、大阪・和泉ナンバー車があった。その女性2人に話しかけたところ、彼女らは途中までだったという。遠路ご苦労さんである。

今年は近年にしては積雪が多い。そして、先週と今週の前半に幾分降雪があった。したがって、これまでの米山のうちでは一番雪が多かった。しかし、先行者も居たうえに、トレースはしっかりしていた。天気予報も数日前から晴れであった割には予想より入山者が少ないと思った。

会報に載せて貰い、幾人かに声掛けしてみたが、結局3人だった。お天気が良くて、もう少し長い山でも良かったかなとも思ったが、この時期にそれを判断するのは前夕で無ければ難しい。当初の予定通りこの山とした。